

入場無料
どなたでも
参加できます

～新春講演会～

主催 公益社団法人 伊野法人会

初めは小さくても村の大きな産業に

—農協の六次産業— 馬路村農業協同組合 代表理事組合長



とうたに もちふみ
講師 東谷 望史 氏

日時 平成27年 1月21(水) 14:00~16:00
会場 グランディール 1F (土佐市高岡町甲 730-1)

入場無料 先着 100名

(先着順に受け付けをします。聴講券は発行しません。定員オーバーの場合のみご連絡いたします。)

高知県東部の馬路村は、村の面積の96%が森林で覆われた典型的な山間地である。かつては林業で栄えたが、資源の枯渇、事業の合理化によって営林署(四国森林管理局)が撤退。林業に代わり、村で生産される柚子の加工販売が伸び、地域づくりで注目を浴びるようになった。1989年に発売した「ごっくん馬路村」は人気商品としてヒットし、全国的なブランドとなった。ゆず加工品の売り上げは右肩上がり続け、2013年には34億円に達した。東谷は、その立ち上げから今日までのゆずづくり、商品開発、販売の仕組みを築きあげ90名の雇用を生むなど、30年にわたる活動の中心的役割を果し、馬路村のイメージをつくりあげた。2000年旧馬路村営林署跡地を購入、ゆずの森構想を立ち上げ、新工場を建設。景観と調和した「柚子の森加工場」に、全国から視察や観光客が訪れている。中山間の不利不便な地域でも、やればできることを証明した馬路村農協の取り組みは、地域づくりの手法として注目されている。馬路村の人口は現在約950人、高知市から車で2時間かかる。

【プロフィール】

1952年3月高知県安芸郡馬路村生まれ、1973年5月馬路村農業協同組合就職、1983年4月同営農販売課長、2000年6月参事兼生産加工課長、2001年4月代表理事常務、2002年5月代表理事専務、2006年4月代表理事組合長 現在に至る、2007年4月馬路村観光協会会長。2003年地域産業おこしに燃える人に選定、2005年国土交通省選定観光カリスマ、2007年内閣官房委嘱 地域活性化伝道師、2012年地域づくり総務大臣表彰受賞。

【問合せ先】 公益社団法人伊野法人会 TEL 088-852-4662 電話 平日9:00~17:00

新春講演会申込書 (FAX 088-852-4628) 申込締切 1月16日(金)

住所	法人名		
参加区分	会員() 一般()	○印を記入してください。	
TEL	Fax		
ふりがな	ふりがな		
参加者氏名	参加者氏名		

※お申込みはFAXでお願い致します。

※本申込書にご記入いただいた個人情報につきましては、講演会開催に係る受講者の確認のみに使用いたします。